



ERDI

スタンダード & プロシージャーマニュアル

EMERGENCY RESPONSE DIVING INTERNATIONAL®

tdisdi.com

ERDI スタンダード & プロシージャー

Part 1: イントロダクション

ERDI スタンダード & プロシージャー

発行元 : International Training®

電話 : (888) 778-9073 | Fax: (877) 436-7096

tdisdi.com | worldhq@tdisdi.com

© 1994, by Emergency Response Diving International® (ERDI)

著作権に関して : 無断複製禁止。Printed in Japan. 1976年の著作権法で許可されている場合を除き、本書のいかなる部分も、発行元の書面による事前の許可なく、いかなる形式または手段によっても複製または配布すること、あるいはデータベースまたは検索システムに保存することを禁じます。

商標 :

Scuba Diving International®, Technical Diving International®, および Emergency Response Diving International® は、International Training® の登録商標です。

国際標準図書番号 / ISBN: 1-931451-92-3

Product ID #: 320100-01

目次

1.	免責事項	1
2.	倫理規定および行動規範	2
3.	一般コーススタンダード	3
3.1	事務手続き	3
3.2	事故発生時	3
3.3	定義	4
3.4	限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング	5
3.5	オープンウォータートレーニング	5
3.6	講習生ダイバー必須器材	6
3.7	講習生テンダー必須器材	7
3.8	インストラクター必須器材	7
3.9	認定	8
4.	一般メンバーシップスタンダード	9
4.1	ERDI スーパーバイザー	9
4.2	ERDI インストラクター	9
4.3	ERDI オペレーション(Ops)インストラクター	9
4.4	一般	9
4.5	各国地域事務局の所属手続き	10
4.6	アクティブティーチングステータス	10
4.7	保護観察(Probation：プロベーション)ステータス	10
4.8	ノンティーチングステータス	11
4.9	一時停止(Suspended：サスペンデッド)ステータス	11
4.10	除名(Expelled：エクスペルド)ステータス	11
4.11	正当事由による一時停止または退会の条項	12
4.12	品質保証(QA)手順	12
4.12.1	一般品質保証(QA)手順	12

4.12.2	不問措置	13
4.12.3	保護観察(Probation：プロベーション)処分	13
4.12.4	一時停止(Suspended：サスペンデッド)処分	13
4.12.5	除名(Expelled：エクスペルド)処分	13
4.12.6	アメリカ本部における品質保証(QA)手順	14
4.13	エグザム(学科テスト)	14
4.14	ダイブリーダー(プロフェッショナルランク)のクロスオーバー要件	15
4.15	2年更新/リフレッシュャーポリシー	15
5.	監督	19
5.1	講習生とインストラクターの人数比	19
5.2	セーフティダイバーとテンダー	19

改訂履歴

改訂 ナンバー	日付	変更
2.0	03/16/2002	このマニュアルは、再構成されました。
3.0	08/01/2004	このマニュアルは、完全に書き直されました。
6.0	11/01/2005	句読点の修正が行われました。
7.0	10/27/2006	文言の修正が行われました。
8.0	11/13/2007	本文一部修正
9.0	11/14/2008	文言の明確化と更新を追加
10.0	12/31/2009	2009 年アップデートとマイナー編集
11.0	01/01/2011	マイナー編集と書式設定
12.0	01/01/2012	マイナー編集
12.1	06/01/2012	3.3 定義を追加
13.0	01/01/2013	変更なし
14.0	01/01/2014	変更なし
14.1	10/01/2014	NFPA1953 ガイドラインを 3.5 に追加
15.0	01/01/2015	変更なし
15.1	04/01/2015	4.5 インターナショナルダイブリーダーの登録手順を追加
15.2	08/01/2015	変更なし
15.3	11/01/2015	2 ページ目：アメリカ本部の情報を更新
16.0	01/01/2016	変更なし

ERDI スタンダード&プロセスジャー

Part 1: イントロダクション

16.1	04/01/2016	4.13 ダイブリーダー(プロフェッショナルランク)のクロスオーバー要件を追加
16.2	07/01/2016	4.6.6 ダイブリーダーのリニューアルに年 1 回のダイバーメディカルの提出義務付けを追加
17.0	01/01/2017	変更なし
18.0	01/01/2018	3.3 参加前条件の定義を追加 4.6.6 ダイブリーダーのリニューアルに年 1 回のダイバーメディカルの提出義務付けを削除
19.0	01/01/2019	3.1.2 ダイバーメディカル要件の明確化 3.1.3 ダイバー登録申請フォームの追加 3.2 事故発生時セクションの置き換え 4.11.6 Step 4 - 最後の文を削除 書式設定の更新
0120	01/01/2020	3.1.3 医師の署名入りダイバーメディカルの正式表記を定義 4.14 「注：」を拡張
0121	01/01/2021	変更なし
0221	02/01/2021	変更なし
0122	01/01/2022	変更なし
0122a	01/01/2022	変更なし
0123	08/25/2022	4.10 正当事由による一時停止または退会の条項を追加
0124	01/01/2024	3.1.2 医師の診断書要件について明確化

1. 免責事項

エマージェンシーレスポンスダイビングは一般的に危険な活動であり、これには十分なトレーニング、良好な体力およびこれらの活動に伴う固有のリスクに対する実務上の知識が必要とされます。このマニュアルは、資格のあるインストラクターが実施する包括的なトレーニングプログラムに取って代わるものではありません。

本書の著者、Emergency Response Diving International® (ERDI), Scuba Diving International® (SDI), Technical Diving International® (TDI), International Training® (IT) および Emergency Response Diving International® (ERDI), Scuba Diving International® (SDI), Technical Diving International® (TDI), International Training® (IT) の関係者は、ここに含まれる資料やスクーバダイビング全般、特にエマージェンシーレスポンスダイビングに関する活動から生じた事故や負傷について責任を負いません。

2. 倫理規定および行動規範

ERDI プロフェッショナルは：

- ダイビングに携わる者として、常に自身の心身の健康状態を維持しなければならない。
- 常に器材をメンテナンスし、不具合のある器材では決してダイビングをしない。
- プロフェッショナリズムと客観性の維持に努め、ダイビングにおける安全の概念を支持する。
- 資格のない人にダイビングをさせない。
- 初心者ダイバーや、より大きなパブリックセーフティダイビングコミュニティから要請があれば、講習会の開催や、質問への回答、書籍出版や雑誌寄稿などを通じて、自分の知識を伝えるためにあらゆる努力をする。
- 常に水中環境の保全に対する意識を高め、実践するよう努める。
- 自らの意思で ERDI メンバーに加わったことにより、ERDI の発展に貢献し、ERDI が採用した公式決定を支持する責任と義務を負う。当該組織に対するこの義務を果たすにあたり、ERDI ダイバーとインストラクターは、以下の事項を守らなければならない：
 - 組織の一員として ERDI を公にサポートする。
 - 改善が必要な場合は、権限および責任のある立場にある ERDI メンバーやダイバーと直接連絡を取り、プロフェッショナルな方法で実現するためにあらゆる努力をする。
 - 組織の一員として ERDI を公にサポートする。
 - 改善が必要な場合は、権限および責任のある立場にある ERDI メンバーやダイバーと直接連絡を取り、プロフェッショナルな方法で実現するためにあらゆる努力をする。
- ERDI スタンダード違反や倫理規定および行動規範違反を報告する義務がある。
- 講演、記事や書籍、インターネット上での様々な言論活動など、あらゆる活動において、プロフェッショナルとしての行動と倫理的行動の模範となるよう努力する。
- ダイビングおよびダイビングプロフェッショナルに対する根拠のない批判的なコメントや意図的な扇動的発言は不適切で望ましくない行為で、組織内では容認されない。

3. 一般コーススタンダード

この一般コーススタンダードは、全ての ERDI トレーニングコースに適用される。

3.1 事務手続き

インストラクターは、Ops(スペシャルティ)コースを含む講習生が参加する全てのコースごとにそれぞれフォームを作成し、全ての講習生が以下のフォームに記入することを確認しなければならない。これらの記録は、コース開始前に完了しなければならない、最低 7 年間は保管が必要である。

1. ERDI 一般賠償責任の免責とリスク負担への同意書
2. ERDI ダイバーメディカル/参加者チェックシート(ノンダイビングコースのスタンダードで特に義務付けされていない場合を除く)講習生のダイバーメディカル上の回答が、ダイビングを行うには医師の許可が必要であることを示すものであった場合、その講習生は、いかなるコースまたはスペシャルティトレーニングの限定水域またはオープンウォータートレーニングに参加する前に、制限なくダイビングを行うための医師による承諾書を提出しなければならない。
3. 医師の署名済ダイバーメディカルは、より長い有効期間が示されている特定のフォームの場合を除き、病状に変化なければ最大 12 か月間有効。
4. ERDI スチューデントトレーニングレコード(7 年間保管する必要がある)

3.2 事故発生時

事故が発生した場合、最大の関心事は事故者のケアです。

更なる懸念には以下の事項が含まれます：

- 事故者の器材を確保する - 重大な事故では、地方自治体が器材を管理する場合がある。
- International Training® インシデント/事故レポートを使用して、全ての関連情報を収集する。
- 事故者の家族や友人の心情に配慮する。
- インシデント/事故の事実について推測してはならない。
- 他人の潜在的責任に関するコメントをしてはならない。
- あらゆる写真を撮影し記録を残す。

できるだけ早く、記入済みのインシデント/事故レポートを **International Training®** または地域事務局に e メールまたは **FAX** で送信してください。その際、該当する免責同意書のコピーも添付します。トレーニング中に事故が発生した場合は、ダイバーメディカル/参加者チェックシートのコピーと全てのスチューデントトレーニングレコードも含めます。全てのインシデント/事故を報告する必要があります(比較的小さな事故でも)。保険会社が一定の報告手続きを求める場合は、それにも従わなければなりません。別の教育機関を通じて実施されたトレーニングプログラム中にインシデントが発生した場合は、インストラクターはその教育機関の手順に従う必要があります。可能な限り、全ての関係者に同じレポートを提出します(レポートが複数バージョンになることを避ける)。

その後の公式調査に協力してください。これは、**International Training®**、地方自治体、およびその他の教育機関によって実施される場合があります。ニュースメディアや他人に発言することは控えてください。

思慮深いダイブプロフェッショナルは、緊急時の手順を確立し、トレーニングで使用する全てのロケーションにおける緊急時計画を確立しています。

CPR(心肺蘇生法)および**ファーストエイド(応急手当)**の認定を最新の状態に保つことは、慎重さを示します。各ロケーションごとに、救急医療サービスの適切な連絡先を確認してください。現場をコントロールし、タスクを割り当て、使用する器材と周囲を把握できる準備を整えます。たくさんのメモを取り、レポートを時系列で管理し、器材と周辺地域の写真を撮影します。目撃者から話を聞き、可能であれば多数の目撃者から観察結果を聞き、レポート作成に役立てます。インシデント/事故レポートは必ず適時に記入し、適切な団体または個人に提出し、第三者と共有しないようにしてください。

3.3 定義

アシスタントまたはアシスト=自分が指導する資格がないコースを開催しているインストラクター、コースディレクターまたはインストラクタートレーナーをアシストする人。アシスタントは、追加の監督活動やスタンダードと環境が許容する範囲内でインストラクターと講習生の人数比を増やすために採用される。登録時にリストされたアシスタントは、アシストしたコースの経験クレジットが認められる。

共同開催(コーティーチ/Co-Teach)またはセカンドインストラクター=そのコースを指導できる資格を有しており、他の資格のあるインストラクターと一緒に講習するインストラクター、コースディレクターまたはインストラクタートレーナー。登録時にリストされたセカンドインストラクターは、同等のクレジットが認められる。

講習生参加前条件=コースを開始する前に講習生が満たさなければならない条件。スタンダード内で特に記載されていない限り、これらの条件をコース中に満たすことはできない。ここにリストされている条件を、インストラクターの判断で免除することはできない。参加前条件の書面によるスタンダードの免除は、コース、ダイブサイト、およびコース参加者の特定の過去の経験に応じて、アメリカ本部トレーニング部門によって発行される場合がある。

3.4 限定水域(コンファインドウォーター)トレーニング

限定水域トレーニングは、プールや、以下の条件を満たす限定水域で実施すること：

1. 透視度が約 3m(10ft)以上
2. 水面が穏やか
3. 講習生が水面から頭を出して立つことができる水深までアクセスが容易
4. 限定水域セクションに記載されている全てのスキルを実施するのに適した水深
5. トレーニングサイトに適した器材がある
6. プール以外の場所で限定水域トレーニングを実施する場合は、必ず ERDI アメリカ本部の事前承認を得なければならない

3.5 オープンウォータートレーニング

インストラクターは、以下の点を考慮し、オープンウォータートレーニングサイトを選択すること：

1. 地域のダイビングコンディションに近い水域(海、湖など)
2. スイミングプールをオープンウォータートレーニング環境として使う事はできない
3. 透視度
4. 気温と水温
5. 気象状況
6. 水域までのアクセス
7. コンディションに適した器材がある
8. コンディションに適した防寒対策(保護スーツ)がある
9. いかなるダイビングも減圧停止を必要としない
10. オーバーヘッド環境でのダイビングを実施してはならない
11. ブリーフィングに含まれるべき内容：
 - a. ダイブサイト
 - b. 海況/水況

- c. 実施するスキル
- d. エントリー/エキジット方法
- e. 緊急時の手順

12. デブリーフィングに含まれるべき内容：

- a. ダイバー全体としてのパフォーマンス
- b. 改善が必要な事項
- c. 環境観察
- d. Q&A

全てのオープンウォータートレーニング中、ERDI スーパーバイザー、インストラクターまたはインストラクタートレーナーは常時同席し、水中での緊急事態に対応できるよう器材を装着して備える。

水中トレーニング中は、NFPA1006、NFPA1670、NFPA1953 のスタンダードを守らなければならない。NFPA が適用されない地域では、プロフェッショナルおよび/またはボランティアのパブリックセーフティおよびエマージェンシーレスポンスダイバーに適用される規制または法的要件に従わなければならない。

3.6 講習生ダイバー必須器材

オープンウォータートレーニングの際、講習生は下記の器材を携行し使用しなければならない：

1. マスクとフィン
2. パワーインフレーター付き BCD
3. 環境に適したレギュレーター
4. リダンダントエアソース；最低 3L(18cf)のポニーシリンダー
5. 適切な計器類：SPG(残圧計)、深度計、ボトムタイマー*
6. コンパス
7. トレーニング環境に適した保護スーツ
8. 圧縮ガスシリンダー
9. カuttingデバイス：1 プライマリー、1 バックアップ
10. レスキューシグナル：音響と視覚
11. ウェイトシステム

12. アメリカ沿岸警備隊承認のパーソナルフローテーションデバイス(PFD、パーソナル浮き具)

13. ダイブテーブル

* 講習生はこの要件を満たすためにダイブコンピュータを使用してもよい。

3.7 講習生テンダー必須器材

オープンウォータートレーニングの際、講習生テンダーは下記の器材を携行し使用しなければならない：

1. アメリカ沿岸警備隊承認のパーソナルフローテーションデバイス(PFD、パーソナル浮き具)
2. カットリングデバイス：1 プライマリー、1 バックアップ
3. レスキューシグナル：音響と視覚
4. グローブ：ラテックスグローブ、作業用グローブ

3.8 インストラクター必須器材

ERDI インストラクターは、下記の器材を携行し使用しなければならない：

1. マスクとフィン
2. パワーインフレーター付き BCD
3. 環境に適したレギュレーター
4. リダンダントエアソース；最低 3L(18cf)のポニーシリンダー
5. 適切な計器類：SPG(残圧計)、深度計、ボトムタイマー*
6. コンパス
7. トレーニング環境に適した保護スーツ
8. 圧縮ガスシリンダー
9. カットリングデバイス：1 プライマリー、1 バックアップ
10. レスキューシグナル：1 音響、1 視覚
11. ウェイトシステム
12. ダイブフラッグ(プール内を除く)を現地の法律や規則に従って携帯すること
13. 実施するコース内容に必要な専用器材

14. アメリカ沿岸警備隊承認のパーソナルフローテーションデバイス(PFD、パーソナル浮き具)

* インストラクター、アシスタントインストラクターまたは ERDI スーパーバイザーはこの要件を満たすためにダイブコンピュータを使用してもよい。

3.9 認定

講習生が ERDI コースを修了した後、ERDI インストラクターは認定を発行し、ERDI ダイバー登録申請フォームを ERDI アメリカ本部または地域事務局に提出するか、オンラインで講習生を登録しなければならない。

ERDI スーパーバイザーと ERDI インストラクターについては、ERDI アメリカ本部へ直接認定申請を行う。

4. 一般メンバーシップスタンダード

4.1 ERDI スーパーバイザー

アクティブステータスの ERDI スーパーバイザーは、ERDI インストラクターを適宜アシストすることができる。

4.2 ERDI インストラクター

ERDI インストラクターは、所定のスタンダードに従って、ERDI テンダー、ERD I、ERD II、および ERDI スーパーバイザーコースを教えることができる。ERDI インストラクターは、ERDI フルフェイスマスクと ERDI ドライスーツ認定を受けている必要がある。

4.3 ERDI オペレーション(Ops)インストラクター

各 ERDI スペシャルティコース(Ops)を指導することを希望するインストラクターには、それぞれ個別の認定が必要である。

これらの認定には、単なる事務手続きだけのものもあれば、正式なトレーニングプログラムの受講が必要なものもある。詳細については、該当するコースのスタンダードを参照すること。

4.4 一般

1. ERDI インストラクターとインストラクタートレーナーは、ERDI 一般スタンダードの 4.14 に詳述されている「2年更新/リフレッシュポリシー」を遵守する必要がある。
2. メンバーは、ERDI コースを教える前に、更新済みアクティブティーチングステータスであり、適切なインストラクターランクを保持していることを確認する必要がある。
3. ERDI スーパーバイザーは、最後にアシストした日から 2 年以内に、少なくとも 1 回は ERDI コースをアシストする必要がある。
4. 全ての ERDI コースは、特に記載がない限り 12 ヶ月以内に修了されなければならない。
5. 全ての ERDI コースで推奨；講習生は、以前に受講したコースでの必須スキルを新しいインストラクターの前でデモンストレーションしなければならない。

4.5 各国地域事務局の所属手続き

1. メンバー(ERDI スーパーバイザー、アシスタントインストラクター、インストラクター、コースディレクター、および IT)は、次のガイドラインに従って居住国を管理している地域事務局に所属する必要がある。
 - a. メンバーは、4 か月以上の期間、その地域に居住している。
 - b. メンバーがコースを指導するために別の地域に渡航する場合は、継続的に 4 か月以上その地域で過ごす場合を除き、その地域事務局の一員とはみなされない。
2. 全ての新規メンバーは、居住国の地域事務局に登録および所属する必要がある。
 - a. インストラクタートレーナーは、リーダーシップ申込書を適切な地域事務局に提出する必要がある。
 - b. インストラクタートレーナーは、新しいダイブプロフェッショナルに登録する地域事務局が不明な場合、SDI/TDI/ERDI アメリカ本部に問い合わせること。
3. メンバーは、所属する地域と一致する住所をユーザープロフィールに登録する必要がある。
4. 所属する地域外に渡航し活動するメンバーには、現地の法律、規則、規制が適用される場合は、その規則に精通するため、また現地の地域事務局への礼儀として、コースを実施する地域を管理する地域事務局に連絡することを強く推奨する。

4.6 アクティブティーチングステータス

アクティブティーチングステータスを有する ERDI インストラクターは、以下のスタンダードに同意しなければならない：

1. 年会費を全額支払わなければならない。
2. 全ての過去未納金を全額支払わなければならない。
3. 該当する地域の法令に従い、現在加入している賠償責任保険の証明を提出しなければならない。
4. 少なくとも一度は ERDI コースを指導するか、アシストすること。全てのインストラクターは、ERDI コースの指導および ERDI ダイバーの認定を行うために、アクティブティーチングステータスを有していなければならない。
5. 全てのリーダーシップスキルを実行できなければならない。

4.7 保護観察(Probation : プロベーション)ステータス

ERDI インストラクターは、以下のような理由により、保護観察ステータスとなる場合がある：

1. 未払いが 90 日を超える場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

保護観察ステータスになった **ERDI** インストラクターは、**ERDI** コースを指導することや、**ERDI** ダイバーを認定することができる。さらにスタンダード違反があると、インストラクターは保護観察ステータスから一時停止ステータスまたは除名ステータスに移動する可能性がある。

4.8 ノンティーチングステータス

ERDI インストラクターは、以下のような理由により、ノンティーチングステータスとなる場合がある：

1. 未払いが 90 日を超える場合
2. 一時的に一時停止ステータスとなった場合
3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合

ノンティーチングステータスになった **ERDI** インストラクターは、**ERDI** コースを指導することや、**ERDI** ダイバーを認定することができない。

4.9 一時停止(*Suspended* : サスペンデッド)ステータス

ERDI インストラクターは、以下のような理由により、一時停止ステータスとなる場合がある：

1. 120 日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
3. 講習スタンダードに違反した場合

一時停止ステータスになった **ERDI** インストラクターは、**ERDI** コースを指導することや、**ERDI** ダイバーを認定することができない。さらにスタンダード違反があると、インストラクターは一時停止ステータスから除名ステータスに移動する可能性がある。

4.10 除名(*Expelled* : エクスペルド)ステータス

ERDI インストラクターは、以下のような理由により、除名ステータスとなる場合がある：

1. 120 日が経過しても未払いを解決するための努力をしなかった場合
2. 一時停止ステータスまたは保護観察ステータスに複数回置かれた場合

3. アクティブティーチングステータスの条件に違反した場合
4. 講習スタンダードに違反した場合
5. プロフェッショナルインストラクターとしてふさわしくない行為を行った場合

除名ステータスになった **ERDI** インストラクターは、**ERDI** コースを指導することや、**ERDI** ダイバーを認定することができない。また、除名処分を受けた **ERDI** インストラクターは、**Emergency Response Diving International®** のメンバーではなくなる。

注：Emergency Response Diving International® (ERDI)は、スタンダード違反が発生したという判断に基づいて、個人を一時停止処分、除名処分、または退会を命ずる権利を留保する。

4.11 正当事由による一時停止または退会の条項

International Training®は、メンバーが以下の行為を行った場合、メンバーシップを一時停止またはメンバーを退会させることができる：

1. 重罪
2. 薬物の繰り返し使用やアルコール依存
3. International Training®、その親会社、子会社、関連会社、またその役員、従業員、あるいは顧客の業務上の健全性を損ない、International Training®の業務上の評判に重大で実質的な悪影響を及ぼす行為

4.12 品質保証(QA)手順

品質保証(QA)に係わる問題は ERDI アメリカ本部のトレーニング部門が担当する。これは地域事務局とセールスマネージャーたちが最終決定において中立的な立場を保障するためである。

4.12.1 一般品質保証(QA)手順

一般品質保証(QA)とは、優良メンバーが最近登録した講習生にランダムに送付するコースサーベイレーターを指す。一般コースサーベイレーターは、指導の質を維持し、適切なトレーニング教材が使用されたことを確認するために送付される。

- このレーターは返送用封筒を同封した郵便で送付されるか、またはコースサーベイレーターeメールにて送信される。
- 全てのコースサーベイレーターは、ERDI アメリカ本部のトレーニング部門に転送される。
- 英語以外を話す講習生には、その講習生が使用する言語に翻訳される。

ERDI プロフェッショナルの資質に疑問が生じた場合、次の 4 つの措置が考えられる：

- 不問措置
- 保護観察(Probation：プロベーション)処分
- 一時停止(Suspended：サスペンデッド)処分
- 除名(Expelled：エクスペルト)処分

4.12.2 不問措置

不問措置とは、トレーニング部門へ提供された情報が不十分、または根拠がないと判断される場合を指す。

4.12.3 保護観察(Probation：プロベーション)処分

保護観察ステータスは、そのメンバーが登録した全ての講習生にコースサーベイレーターを送付することを義務づけるものであり、そのメンバーがコースを教えることを制限したり、妨げたりするものではない。このステータスは、通告なしにメンバーに適用されることがあり、通常は短期間のみである。保護観察ステータスは、メンバーが ERDI のスタンダードや倫理規定に従って行動していない可能性を示唆する情報がトレーニング部門に報告された場合に使用される。また、トレーニング部門の判断により、書面での申し立てがなくても、メンバーは保護観察処分を受ける場合もある。

4.12.4 一時停止(Suspended：サスペンデッド)処分

一時停止ステータス処分を受けたメンバーは、トレーニング部門が決定した期間または条件の下で、いかなるコースの指導も行うことが許されない。その条件は、一時停止ステータス処分の理由とともに、書面でメンバーに通知される。メンバーが一時停止処分を受けるのは、自身に対する嫌疑に 15 日間の異議申し立て期間が与えられ、且つトレーニング部門がその嫌疑について完全な調査を行った後である。

4.12.5 除名(Expelled：エクスペルト)処分

除名処分を受けたメンバーは、ERDI プログラムの指導が無期限に禁止される。メンバーが除名処分を受けるのは、本人の行動を是正するためのあらゆる試みが尽くされた後、または除名が唯一の是正策であると判断された後である。除名処分は、トレーニング部門が徹底調査を行った後、International Training®アメリカ本部プレジデントによってのみ下されます。

品質保証(QA)に関する問題は全て機密事項として扱われ、アメリカ本部トレーニング部門の許可がない限り、外部のインストラクターやファシリティと共有されることはない。

地域事務局やセールスマネージャーは、品質保証(QA)問題に関する情報取得の協力を求められることがある。

暫定的なステータスまたは復帰トレーニングを受けるには、全ての要件が満たされるまで、処分の決定を保留しておく必要がある。

4.12.6 アメリカ本部における品質保証(QA)手順

Step 1 : アメリカ本部トレーニング部門が、スタンダード違反または倫理違反を申し立てる書面またはコースサーベイレーターを受け取る。書面には、スタンダード違反や倫理違反を目撃した報告者の署名が必ずされていなければならない。(電子署名も可能)電話での申し立ては認めない。

Step 2 : ERDI アメリカ本部トレーニング部門は、データベースをチェックして問題になっているダイブプロフェッショナルの現在のステータスを確認する。アメリカ本部は全ての連絡先情報を入手すると、本人に対して違反報告を受理したという事実を通知する。通知は、最初に電話または e メールで伝え、そのあと書面で通知する。

Step 3 : 通知書には、品質保証(QA)違反の疑いが記載される。通知を受けたダイブプロフェッショナルは、15 日以内に書面にて異議申し立てをすることができる。

Step 4 : アメリカ本部は、当該ダイブプロフェッショナルが過去に認定した講習生にコースサーベイレーターを送る。

Step 5 : 全ての情報が提供され、それを調査した後、取るべき措置が最終的に決定される。ERDI アメリカ本部トレーニング部門は書面にて、処分決定をメンバーに通知する。

Step 6 : 当該メンバーのステータスがデータベースに記録される。

講習中に使用された教材や講習のクオリティについて収集した全てのデータは、アメリカ本部のデータベース内の当該インストラクターのファイルに記録される。

4.13 エグザム(学科テスト)

全ての ERDI ダイバーやリーダーシップコースのエグザム(学科テスト)は、80%以上のスコアで合格であり、不正解部分についてはインストラクターと一緒に再確認し、100%理解しなければならない。80%未満のスコアであった場合、代替エグザム(学科テスト)が用意されている場合は、それを使用する。

4.14 ダイブリーダー(プロフェッショナルランク)のクロスオーバー要件

他の教育機関で認定されたダイブリーダーは、その教育機関が発行した現在有効なプロフェッショナルランクの認定証のコピーを提出する必要がある。候補生がノンアクティブであり、かつその期間が5年未満の場合は、当該教育機関のアクティブステータスを回復する前にどのような要件を満たさなければならないかを記した文書をその教育機関から入手しなければならない。次に、候補生はクロスオーバープログラム e ラーニングを完了し(候補生の言語で利用可能な場合)、適切なクロスオーバー申込書を記入し、現在有効なプロフェッショナルランクの証明、保険の証明(候補生の活動場所で必要な場合)、および e ラーニング修了を示す文書を提出する必要がある。その後、有資格者*によるクロスオーバープログラムを完了しなくてはならない。これは、直接対面またはウェブ会議で完了することができる。

候補生が5年以上ノンアクティブであった場合は、当該教育機関のアクティブステータスを回復する前にどのような要件を満たさなければならないかを記した文書をその教育機関から入手しなければならない。

そして、ノンアクティブな期間が長い場合、クロスオーバーしたい最高ランクの IEC(インストラクターエバリュエーションコース)を完了する必要がある。

全ての ERDI クロスオーバー候補生は以下を完了する必要がある：

1. フルフェイスコースのティーチングステータスを提出
2. ドライスーツコースのティーチングステータスを提出
3. 医師が署名した現在有効なダイバーメディカル/参加者チェックシートを提出
4. 現在有効な CPR(心肺蘇生法)/ファーストエイド(応急手当)/酸素管理プロバイダー認定
5. 推薦者として、候補生のパブリックセーフティダイバー講習実績について詳しい人2名の名前と連絡先を提出
6. 現在候補生がパブリックセーフティダイバーコースを指導する際に使用しているアウトラインのコピーを提出
7. 過去12か月のダイビングアクティビティ記録を提出
8. 100本以上のダイビングログで、そのうち少なくとも75本のパブリックセーフティダイビングが記録された証明を提出(実際のパブリックセーフティダイビング活動、またはトレーニングダイビングのいずれも可)
9. アクティブステータスの ERDI IT による ERDI インストラクターエバリュエーションコース(IEC)を修了する

4.15 2年更新/リフレresherポリシー

ERDI インストラクターとインストラクタートレーナーは、自身が指導できる最も高いランクのコースを最後に指導した日から2年以内に1回以上指導しなければならない。2年の期間内に1回も指導していない場合は、そのランクのティーチングステータスはノンアクティブになり、その当該インストラクターやインストラクタートレーナーは

そのランクのアクティブステータスを取り戻すために、アップデートに参加しなければならない。通常、このポリシーの影響を受けるメンバーは、2年以上 ERDI メンバーとして更新しなかったメンバーたちである。しかし、最高ランクより低いランクのコースしか指導していないメンバーも影響を受ける可能性がある。

以下の情報は、他教育機関での同等ランク活動を評価することで、またはインストラクタートレーナーによるアップデートを修了することで、メンバーが完全にアクティブステータスを回復する方法を詳細に説明するものです。

インストラクタートレーナーによるアップデートが必要な場合、次のスタンダードが適用される：

1. ERDI：アップデートは ERDI インストラクターと Ops コンポーネントをカバーする。

ERDI ノンアクティブメンバーリニューアルポリシー

1. ERDI のメンバーで、2年以上リニューアルしていないが、他の公認スクーバ教育機関で指導しているインストラクターの場合、リニューアル要件には以下の「全て」が含まれる：

- a. クロスオーバーe ラーニングコースを修了する(アメリカ本部が発行するコード使用)
- b. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- c. 今年度のメンバーシップリニューアルおよび規約書を記入して提出する
- d. 期間中のスクーバインストラクターとしての活動の詳細を記載した ERDI メンバーアップデート登録申請フォームを提出する。これには、過去 2 年間の他教育機関での同等ランク指導活動の証明が含まれる
- e. ERDI のノンアクティブ期間中、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する

2. ERDI のメンバーであるが、2年以上リニューアルをしていない、且つ他の公認スクーバ教育機関でも指導をしていないインストラクターの場合、リニューアル要件には以下の「全て」が含まれる：

- a. クロスオーバーe ラーニングコースを修了する(アメリカ本部が発行するコード使用)
- b. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- c. 今年度のメンバーシップリニューアルおよび規約書を記入して提出する
- d. 過去 2 年間、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する
- e. 資格のあるアクティブティーチングステータスの ERDI インストラクタートレーナーが実施するアップデートを受講し、関連する ERDI リーダーシップコーススキル達成条件と修了条件を満たす(本人が持つ認定で最高ランクのもの)
- f. ERDI メンバーアップデート登録申請フォームに記入し、アップデートを行ったインストラクタートレーナーの署名を添えて提出する

- g. 医師が署名した、スクーバダイビングに制限や制約がないことを証明する現在有効なダイバーメディカル/参加者チェックシートを提出する
- h. 現在有効な CPR(心肺蘇生法)およびファーストエイド(応急手当)トレーニング証明を提出する

リニューアル済 ERDI メンバー向けアクティブティーチングステータスポリシー

1. ERDI のメンバーであり、更新はしているが、最高ランクコースの指導またはアシストを 2 年以上行っておらず、しかし他の公認スクーバ教育機関では同等ランクの指導をしているインストラクターがアクティブティーチングステータスを回復するための要件には以下の「全て」が含まれる：

- a. 開催できるコースの最新版教材を全て購入するか、または所有していることを証明する
- b. 期間中のスクーバインストラクターとしての活動の詳細を記載した ERDI メンバーアップデート登録申請フォームを提出する。これには、過去 2 年間の他教育機関での同等ランク指導活動の証明が含まれる
- c. 期間中、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを確認する

または

- d. アクティブステータスの ERDI インストラクタートレーナー(同じランクの指導資格がある)に、アップデート修了を証明するメンバーアップデート登録申請フォームを提出してもらう
2. ERDI のメンバーであり、リニューアルはしているが、最高ランクコースの指導またはアシストを 2 年以上行っておらず、且つ他の公認スクーバ教育機関でも同等ランクの指導をしていないインストラクターがアクティブティーチングステータスを回復するための要件は次の通り：

- a. 過去 2 年間、どの教育機関とも品質保証(QA)の問題がないことを証明する
- b. 資格のあるアクティブティーチングステータスの ERDI インストラクタートレーナーが実施するアップデートを受講し、関連する ERDI リーダーシップコーススキル達成条件と修了条件を満たす(本人が持つ認定で最高ランクのもの)
- c. メンバーアップデート登録申請フォームに記入し、アップデートを行ったインストラクタートレーナーの署名を添えて提出する
- d. 医師が署名した、スクーバダイビングに制限や制約がないことを証明する現在有効なダイバーメディカル/参加者チェックシートを提出する
- e. 現在有効な CPR(心肺蘇生法)およびファーストエイド(応急手当)トレーニング証明を提出する

注：ERDI アメリカ本部のトレーニング部門または地域事務局がメンバーアップデート登録申請フォーム確認した後、追加要件やドキュメントが必要になる場合がある。5年以上、ノンアクティブだったメンバーは、アクティブステータスを回復するための追加要件があり、トレーニング部門に連絡する必要がある。

前述の全ての手続きについて、アメリカ本部から e ラーニングコードを無料で入手することができる。

インストラクタートレーナーが、2年以上のノンアクティブ期間後に同ランクでの IT ステータスのリニューアルを希望する場合は、ERDI アメリカ本部トレーニング部門スタッフによる ERDI インストラクタートレーナーワークショップ(または IT クロスオーバープログラム)に参加する必要がある。(無料)さらに、該当するインストラクターランクでの更新の要件も満たす必要がある。

5. 監督

5.1 講習生とインストラクターの人数比

講習生とインストラクターの人数比は、各コースのスタンダードに明記されているが、次のような優先的な例外がある：視界ゼロの環境で、直接監督が必要な場合、水中トレーニングの講習生とインストラクターの人数比は、1 対 1 。

5.2 セーフティダイバーとテンダー

全 ERDI コーストレーニング中、水中にいる各ダイバーには専用のテンダー、そしてバックアップダイバーとそのテンダーが必要である。ノンテザーサーチを行うプログラムでは、ダイバーはバディを同伴しなければならず、テンダーはダイバーの電子コミュニケーションを監視する役割を担う者として見なされる場合がある。

全てのオープンウォータートレーニング中、ERDI スーパーバイザー、インストラクターまたはインストラクタートレーナーは常時同席し、水中での緊急事態に対応できるよう器材を装着して備える。

水中トレーニング中は、NFPA1006、NFPA1670 のスタンダードを守らなければならず、NFPA が適用されない地域では、プロフェッショナルおよび/またはボランティアのパブリックセーフティおよびエマージェンシーレスポンスダイバーに適用される規制または法的要件に従わなければならない。